

奨励賞を受賞して

崇城大学 薬学部 製剤学研究室 庵原 大輔

この度は、名誉あるシクロデキストリン学会奨励賞に選出いただき、大変光栄に存じます。また、シクロデキストリン学会長である東京工芸大学教授 高橋圭子 先生および選考委員会並びに関係の諸先生方に深く御礼申し上げます。

私は熊本大学在学中に上釜兼人先生の主宰される製剤設計学研究室を希望し、そこでシクロデキストリン研究の基礎を教えて頂きました。上釜先生は熊本大学を定年退職後に崇城大学で研究室を主宰され、その際に私が助手として採用され、現在に至るまでのシクロデキストリン研究がスタートしました。奨励賞の対象となった研究テーマ「シクロデキストリンを用いた親水性フラレンナノ粒子の調製」は助手着任時にスタートした企業との共同研究がきっかけであり、当初はナノ粒子研究のノウハウが全くなく、得られた結果がすごいことなのかどうかもわからない状態であり、詳しくな人を捕まえては自分のデータを見せディスカッションをしていたのを良く覚えています。その行動の成果の一つとして、多くの同世代の CD 研究者と仲良くなることができました。不思議なことに CD を使っているというだけで仲間意識が芽生えるのです。普通の学会ではこのようなことは起こりえないでしょう。

奨励賞を受賞して感じたことは、これまで CD 学会を引っ張ってきた先生方からの若い人への期待です。今回の第 33 回 CD シンポジウムで CyD81 なる 81 年代生まれの若手 CD 研究者によるグループが学会とは関係なく非公式に結成されました。メンバーは平成 28 年度 CD 学会奨励賞受賞の私と熊本大学 東 大志 先生、平成 26 年度 CD 学会奨励賞受賞者の千葉大学 東 顕二郎 先生、平成 27 年度高分子学会高分子研究奨励賞受賞者の 東京医科歯科大学 田村篤志 先生で、それぞれ専門分野の異なる CD 研究者です。CD のおかげで出会った縁を大切にし、お互いに切磋琢磨しながら、頂いた奨励賞を励みに今後も CD 研究に邁進し、CD 学会を盛り上げるつもりです。最後に学生時代から現在に至るまでご指導いただいた熊本大学名誉教授 上釜兼人 先生、崇城大学教授 平山文俊 先生に心より感謝の意を表します。